

令和元年度 川崎北高等学校不祥事ゼロプログラムについて

不祥事の未然防止を図るため、すべての職員が自らの問題として主体的に参加し、継続的な取組みを実施する。

1 実施の体制

- (1) 川崎北高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭、事務長がこれを補佐する。
- (2) 不祥事ゼロプログラム実施にあたって、不祥事防止会議が中核となって推進し、全校的な取組みとして活動を活性化するために、総括教諭は校長及び副校長、教頭、事務長を補佐する。
- (3) 各職員は不祥事を他人事とせず、不祥事防止に職員全員が必ず参加して自らの問題意識を持って取り組む。

2 目標の設定及び行動計画

取組み課題	目標	行動計画（実施月）	担当
○わいせつ・セクハラ行為等の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意思や尊厳を守り、対応・指導を行う。 ・職員間あるいは日常生活において、他者の人格を尊重し、品位ある言動・行動を心がける。 	事故防止会議（5月） ルールを再確認する 生徒からの相談体制を整える	副校長
○定期試験・成績処理の事故防止 ○進路関係書類等の書類の作成及び取扱いに関わる事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・公正な試験を実施する。 ・点検を重ね、ミスを防ぐ。 ・進路関係書類作成時の管理と処理を適切に行う。 	事故防止会議（6月） 教務手帳一括管理の遵守 マニュアルに従った成績処理、書類作成を行う ヒヤリハット体験を職員間で共有する	教務開発G 進路支援G
○体罰、不適切指導の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権を尊重し、心身の発達や安全に留意した適切な指導を行う。 	事故防止会議（7月） 人権研修（6月3日）を踏まえ、一人ひとりを尊重した教育のあり方を確認する	活動支援G
○服務規律の徹底、法令遵守意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの意識を持ち、公務員として公正に職務を遂行する。 	事故防止会議（8月） チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施する	教頭

○個人情報の管理、取り扱い、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	・個人情報について理解を深め、個人情報の保護かつ安全な運用を目指す。	事故防止会議（9月） さまざまな個人情報の取り扱いや管理方法を再確認する 情報記録媒体の使用方法と管理の徹底を行う 管理職による点検を通年実施する	管理運営G
○会計事務・物品管理等の適正執行、適切な経理処理	・適正な会計処理・物品管理を実行する。	事故防止会議（10月） 私費会計基準の全職員への周知徹底を行う 会計担当者対象研修会を実施する	連携総務G
		備品の定期的な点検	事務長
○交通事故防止、交通法規の遵守	・交通事故の発生を未然に防止する。	事故防止会議（11月） 身近な例の提示や事例研究を行い、注意喚起につなげる	生活支援G
○入学者選抜に関わる事故防止	・入学者選抜に関わる書類の管理や処理を適切に行い、公正な入学者選抜を実施する。	事故防止会議（12月） マニュアルを作成し、職員一人ひとりが責任をもって業務にあたる	入選委員会 副校長
○公務外非行の防止	・勤務時間の内外を問わず社会人・公務員として自覚を持ち、法令を遵守し、公正に職務を遂行する。	事故防止会議（1月） チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施する	教頭
○不祥事ゼロの徹底	・教職員との個別面談を通じて注意喚起を行い、不祥事を未然に防止する。	不祥事防止個人面接の実施（5・6月）	校長

3 検証

行動計画は日々実践することであるが、計画的に検証を実施する。

本年度12月までに研修等実施状況を確認し、未実施がある場合には1月中に補完措置を行う。また、3月末までに実施状況を再度確認し、自己評価を行いHPに掲載する。その結果、必要に応じて目標・行動を修正し次年度の不祥事プログラムを策定する。